

# 東京教区時報

第1033号  
2007年4月22日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nsk.org](mailto:comm.tko@nsk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

4月の代祷・信施奉献先  
エルサレム教区のため 在日外  
国人人権問題のため 柏聖アンテ  
レ教会のため 諸神学校のため

《奉献先から》

聖公会 神学院  
1911年(明治44年)に設立  
され、戦時下の廃校などの苦難  
の歴史を経ながらも日本聖公会  
の聖職養成機関としての働きを  
続けて現在に至っています。4  
年後の2011年には創立百周  
年を迎えます。去る3月17日の  
第91回卒業礼拝では6人の神学  
生が各教区の現場の第一線に巣  
立っていきましました。また4月9  
日には4人の新入生を迎えて07  
年度の入学礼拝が行われ、加藤  
博道主教(東北教区主教)の校長

代行のもとと教育スタッフやカリ  
キュラムも整えられ、新しい体  
制で新学期の第一歩を踏み出し  
ました。東京教区の2人を含め  
9人、7教区から派遣された神  
学生が祈りと学びの生活を共に  
しています。(事務長 岡野峻)

「注」日本聖公会にはもう

1校「ウイリアムス神学館」(館  
長 吉田雅人司祭・京都)があ  
り、3月に6人の卒業者を送つ  
たいまは、在校生は4人…  
とこしえの平安

3月15日 丹兵衛美智子(80)

聖三一

## 今週・来週の予定

4月22日～5月5日

- 22(日) 復活節第3主日  
主教巡回 聖マルコ教会  
教役者会歓迎会(聖バルナバ)
- 24(火) 銀座朝拝会  
聖職養成委員会
- 25(水) 山手G牧師協議会  
(聖マーガレット)
- 26(木) 正義と平和協議会  
運営委員会
- 27(金) 主事会議  
教区企画室  
信仰と生活委員会
- 28(土) 山手Gピクニック(神学院)  
多摩Gピクニック(滝乃川)
- 29(日) 復活節第4主日  
主教巡回 清瀬聖母教会  
城南G聖歌フェスティバル  
(聖アンデレ)
- 30(月・休) 下町Gピクニック  
(葛西臨海公園)  
環状G合同礼拝(全生園)

掲載記事の転用可事前連絡要

男女の区別なく職業選択の自由を謳  
歌できる時代に育った私は、自らが望  
む職に就いた。いくつもの選択肢の中  
から選びとった仕事に生きがいを感じ、  
休む暇も惜しんで没頭していた。一  
方で、結婚や出産  
は、私にとって魅  
力ある選択肢で  
はなかった。  
「選ぶ」という行  
為は実に危うい。  
人は選択の自由を  
獲得した途端、自分が万能であるかのよ  
うな錯覚に陥る。いつのまにか私は、仕  
事を自ら「勝ちとった」ものだと思つよ  
うになつていった。仕事に没頭すればする  
ほど、私は信仰とかけ離れた生活を送る  
ようになつていった。

夫と知り合い、私は再び主に導かれる  
こととなつた。彼に連れられて行った清

《恵みに生かされて》

## 注がれる光のなかで

村松陽子

から教会に通つてい

なさんからたくさん祝福を頂き、先  
日、幼児洗礼に与かった。洗礼名はル  
カ。LUX《光》の意味が込められて  
いる。人間の力を超え、注がれ続ける  
「光」を感じることでできる人であつて  
ほしい。そして、母となつた私自身も、  
注がれる光に感謝して生きていきたい  
と思つている。(清瀬聖母教会信徒)

でにそれは、「自分の選  
択」ではなかった。  
神様からの祝福を受  
け、誕生した息子、呉  
(そら)は、生後一週間

常置委員会報告(4月10日)

\* 主教報告 教育を終了した聖職候補生に対する適正な給与について、教役者待遇調査委員会へ諮問することにした。

\* 第一・四半期収支報告、教区フェスティバル準備進捗状況など、各主事報告を了承した。

\* 主教諮問に対し聖職候補生志願者と面接し受理妥当と答申。

\* 資産運用に関する財政委員会案の財務主事説明を了解した。

\* 月島聖公会将来計画検討特別委員会委員候補5人を推薦。

\* 聖公会神学院問題に関する確認調査チームの人選を行った。

\* その他。

### 山手Gグリーンデーピク

二ツク 4月28日(土) 10時半  
14時、聖公会神学院中庭(雨天中止)。会費500円・中学生以下300円。照会先 幹事・聖マーガレット教会・電話03(3334)2812。

多摩G合同ピクニツク 28日(土) 10時半 16時、滝乃川学園。ミニコンサート・講演・映画鑑賞なども。昼食代千円。照会 幹事・小金井聖公会。042(386)5188。

下町Gフアミリーピクニツク 30日(月) 休 11時 14時、葛西臨海公園(雨天中止)。照会 幹事・千住基督教会・03(3807)9937。

環状G合同礼拝 30日(月) 休 10時半 15時、多磨全生園公会堂。ハンセン病資料館見学

も。照会 幹事・池袋聖公会。03(3986)4709。

五本木九条の会講演会 憲法を学ぶ 第14回(なくそう核兵器まもれ憲法九条)核兵器廃絶こそが平和への近道。

講師 青木清原水爆禁止目黒協議会代表理事)。4月25日(水) 18時半 20時半、聖パウロ教会・電話03(3710)6031。

アンデレ寄席 チャリティー落語会 5月4日(金) 休(18時)、聖アンデレ教会主催、一粒の麦の会協力。出演は晴留家志んぶさん他。木戸銭2千円(前売り千800円)。収益はぶどうのいえ・バーンサバイの働きへ。照会・申込み電話 03(3531)2175

### 【学びと働きから】40

#### 「西新の会」の歩み

1988年、宣教の刷新を目指して東京教区が作成した『しんせい』に学んだことがきっかけで、練馬や目白など近隣の数教会の信徒有志が集いました。その時に、東京教区には35の教会・礼拝堂があるが西武新宿線沿線には一つもない。これからも人口増加が見込まれるこの沿線に宣教拠点を設け、集会を持ち続けよう」がそのスタートでした。当時、沿線にお住まいだった故竹内寛司祭様に強く励まされたの力になりました。

ナザレ修女会所有の下井草駅近くの住宅を集会所に使わせていただいたこともありましたが、現在は杉並区井草地域区民センター

の一室を借りて月2回の集会を続けています。毎月第2火曜日午前10時半から12時、「聖書を学ぶ会」。第4火曜日は主日に聖餐に与れなかった方が出席できるよう、午後7時半から9時まで「聖餐式とその週の福音書の学び」をしています。現在、数名の司祭様にご奉仕いただいて、毎回10人前後の方が集まり20年近く欠かさずに続いています。「ここしばらくの予定は、4月24日宮崎光司祭、5月8日高橋顕司祭、5月22日河野裕道司祭」現在の場では宗教行事の制限と継続性を保てないのが悩みになっています。じっくりと集会が出来る場を確保したいのが、現在の望みです。多くの方の祈りと参加を願っています。

目白聖公会 篠宮慶次

「神学院問題」の取り扱い 教区会関連「神学院問題」を本コラムで取り上げる企画をすすめ、取り上げ方・執筆者について検討して参りました。その結果、報告・解説は教区主教がその責に当り主教自身のまごめが必要、問題の経緯や内容を限られた紙幅でまとめることの困難、説明不足による混乱を招く恐れなどから小紙での報道を避け、教区主教がまとめる説明文、聖公会神学院をめぐる問題と東京教区の理解を配布して代える態勢をとることが好ましい、などとする常置委員会見解を受け、当面の報道を控えることにしました。説明文を希望される方は直接、教区事務所気付主教チャブレン宛申込みをされますようお願い致します。広報委員会